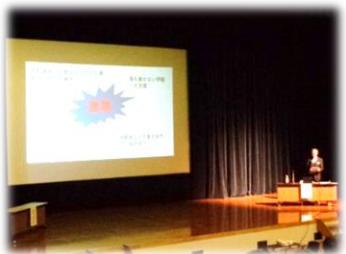


令和7(2025)年度 下都賀地区小・中・義務教育学校主幹教諭・教務主任研修会を開催しました

日 時：令和7(2025)年11月18日（火）

会 場：栃木市藤岡文化会館



I 研修の目的・内容等

(1) 目 的

下都賀地区の学校教育を展開していく上で、主幹教諭・教務主任としての資質の向上を図るとともに、教育課程の改善や子どもの資質・能力の育成に関してカリキュラム・マネジメントの視点から研修することを通して理解を深め、各学校教育のより一層の充実を図る。

(2) 内 容

○講話・演習

「『学業指導』を視点とした主幹教諭・教務主任の意図的、計画的な関わり
～一人一人の子どもが主役となる授業づくりを通して～」

講師 下都賀教育事務所 古川 智明 スクールソポーター

2 本研修で確認したこと

(1) 講話から

○「学業指導」を視点とした意図的、計画的な関わりについて

- ・学業指導とは
- ・授業づくりにどのような意図を持って、どのように先生方と関わるか

ポイント

教員同士の学び合いの促進
地域や保護者との連携を意識した授業づくり
カリキュラム・マネジメントの視点からの関与

- ・目指す子ども像の実現に向けて教育課程編成で大切にしたいこと

ポイント

児童生徒の実態を正しく把握すること
実態に合った目標を設定していくこと

○主幹教諭・教務主任としての意図的、計画的な関わりについて

- ・一人一人が主役となる授業とは

ポイント

児童生徒一人一人の声を受け止め、認めること

- ・主幹教諭・教務主任として実践したこと
- ・教頭・校長の立場から主幹教諭・教務主任に求めること

「学校経営に自分の力が生きている」と実感してほしい
今日的な課題を見いだし対応していく指導を実践してほしい

(2) 班別協議から

- ・「学業指導を視点とした一人一人の子どもが主役となる授業づくり」に向けた実践（主幹教諭・教務主任としての意図的、計画的な関わり）の紹介と、その実践について、講話からの気付き
- ・主幹教諭・教務主任としての関わり（次年度の教育課程編成にどう生かしていくか）

3 本研修で学んだこと（参加者が記入した〈研修の振り返り〉から）

【主幹教諭・教務主任の役割に関わること】

- 「学校としての計画（経営方針や教育課程）→実施（先生方や児童生徒の取組）→本校教育活動の質の向上」となるように、こまめな情報共有や共通理解を図る機会や意識付ける機会を設定することが大切だと学びました。
- PDCAサイクルの中でも、目標を明確に達成する手立てを講じながら、次なるよりよいP(プラン：計画)を立てるために振り返りを欠かさず行い、改善してつないでいきたいです。
- 目指す子ども像を実現するために、職員室の学級委員として、チーム学校のマネージャーとして、管理職と先生方を・先生と児童生徒をそれぞれの思いを大切にしながら「つなぐ役割」を果たしていきたいです。
- 今後教育課程を作成していく中で、本校の実態や課題を教職員で話し合って共有したいです。本校のビジョンを描き、強みを生かしながら、どのような手立てを講じて実践していくのか、組織マネジメントを展開していきたいです。
- 目的と手段はもちろん、優先順位も明確にし、教務レベルでのカリキュラム・マネジメントと学年・担任レベルでのカリキュラム・マネジメントを全教職員が自分事として考えていけるよう、仕掛けていく必要があると思いました。そのためにも、日頃からアンテナを高くするだけでなく、レーダーのように自身の意識を高くもって情報を収集しに行けるよう、他愛もない会話を大事にしていきたいです。
- 子ども育成＝教員育成（柔軟な校内研修計画、適材適所な教育課程等）の視点を持ち、まず自分自身の研鑽を続けながら、教職員のサポートに当たっていきたいです。十分な授業研究をすることで、子ども達一人一人にスポットを当てられる授業を創ることにつながると思うので、管理職と相談しながら日課等を工夫していきたいです。
- OJTとして初任研に関わっているが、もう少し広く若手育成ができるような体制づくりを学習指導主任とともに整えていくことが大切だと思いました。来年度の教育課程を作り始めているので、先生方の意見をもとに、不易と流行を生かした教育課程を考えていきたいです。

【一人一人の子どもが主役となる授業づくりに関わること】

- 「児童生徒が毎日行って楽しいと思えるような学校づくり」に加えて、「先生方が楽しく働ける職場づくり」も目指し、職員室の学級委員として、目配り・気配りを忘れないようにしたいです。
- 児童・生徒指導に目が行きがちですが、授業づくりが必須だと改めて思いました。考えたい課題との出会い、考えを表現することの面白さ、友達と対話する中で新しい気付きを得る喜びなど、授業で楽しさを感じさせられる教師集団でありたいです。
- 一番心に残ったのは、「児童生徒の実態を正しく把握する」「短期の目標を設定する」「より具体的な方策を立て実践する」ことです。目指す子ども像を明確にして、今日は、今週は、今日の授業では…、と「短いスパンで目指すことを積み重ね、児童生徒を導いていく」というお話がストンと心に落ちました。
- 協議ではどの学校も「主体的」というキーワードが出てきました。そして、どの学校も意図的な仕掛けや様々な取り組みがありました。魅力ある学校で教育活動を行えるように、また、一人一人が主役となる授業づくりを実践できるよう、主幹教諭・教務主任として、尽力していきたいです。
- 先生方が「学校経営に自分の力が生きている」と実感できる実践を目指して協働していきたいと思います。

